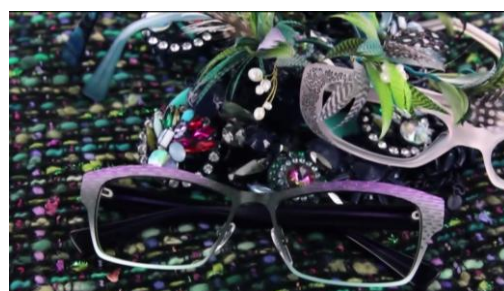


lafont.

カフェ・ド・ラフォン 22 号

Q&A 秋冬コレクション (mido) 2014

1. ミド展で発表されたコレクションテーマについて教えてください。



私たちは前回に引き続き、コレクションテーマ「ロマンス」の延長線上にいます。叙情的で詩的な空気感や女性らしさ……ハッピーエンドを迎えたヒロインの眼差しは清廉な強さを称え、凜とした佇まいはパリジェンヌのエレガンスを表しています。テーマにする色味とディテールのセレクトにはいつも以上に注意を払い、“ロマンス”に対するラフ

オンの世界観を表現しています。

ミド展ではブースディスプレイは、レディースをピンク系、メンズをグリーン系でまとめました。どちらも色味のトーンを落とし、大人っぽさや安心感、落ち着きを与える空間を作りながらもラフオンの持つ洒落感が漂います。アジアを旅したときに購入した石造のオブジェ、パリの骨董市で買い足した油絵、英国製ツイード生地を使ったクッション、木製のボートの模型、バイクや自動車のパーツ……それぞれ独特の質感や雰囲気を持つ素材を、巧みにまとめ上げたラフオンのセンスを楽しんで頂ければと思います。



2. 今回のモデルのモチーフについて教えてください。

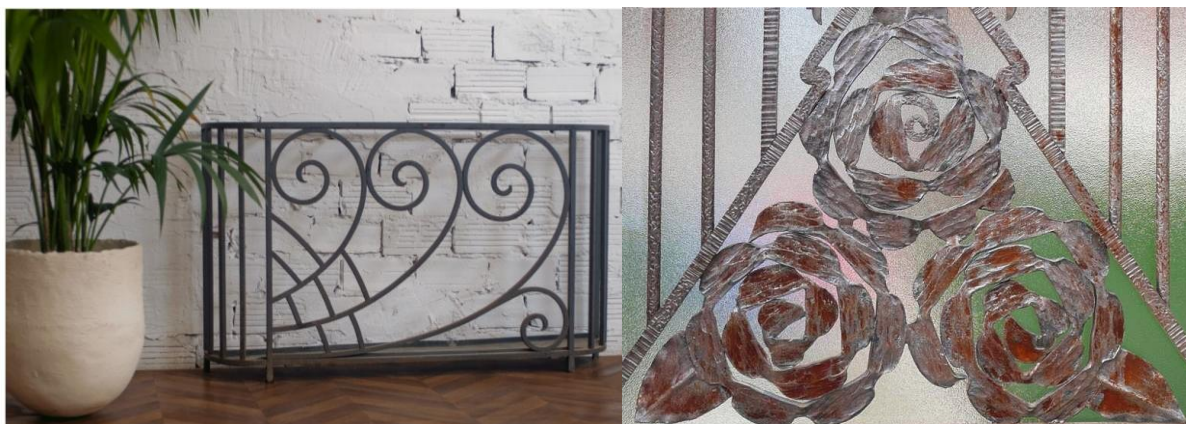
OPIUM オピウム

小さな粒がはじけ飛ぶ様子。グラスに注いだシャンパンの泡のような、発泡するイメージです。



右の写真は OPIUM7030 にサングラスレンズを入れたものです。(非売品)

OEILLADE ウイヤードゥ



ウイヤードゥの美しいメタルレースのモチーフは、アール・デコの時代に作られた、窓ガラスに嵌め込まれた薔薇の細工や、パリのアパートマンにある鉄製バルコニーからインスピレーションを受けています。アール・デコとは、1930年代のエlegantで洗練されたデザインが生まれた時代のことです。

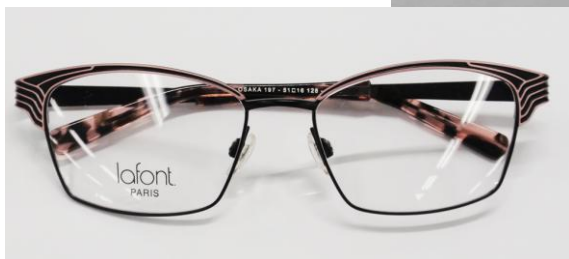
OMBLINE オンブリン

バレシューズのサテンの繊細なリボンやコルセットの結び目がモチーフです。



OSAKA オーサカ

フレームの玉型に沿うように描かれた直線と曲線の優美なラインは OEILLADE と同様、アール・デコからのインスピレーションです。



OBSESSION オブセッション

フロントにあしらわれたトリコロールのグラデーションは、発色のよい色味を拡散させ、目元を華やかにするメイキャップのイメージです。



ORIGINALE オリジナル

印象派絵画のような速筆的なタッチ、または、動的張力を表した幾何学模様がモチーフです。



OTHERO オテロ

アール・デコの鉄細工や鳥の両翼からのインスピレーションです。

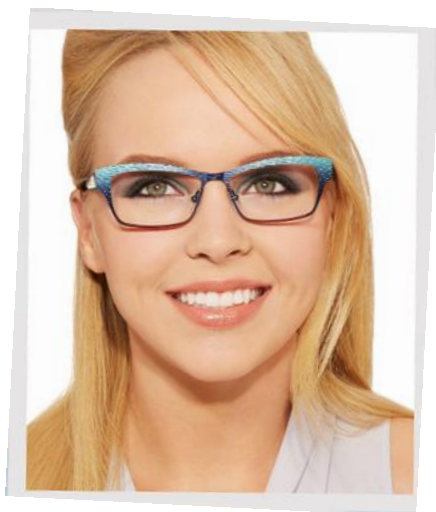


OSEE inlaid オゼ・インレイド

グラフィカルなデザインが特徴的なエンパイアステートビルからのインスピレーションです。エンパイアステートビルも代表的なアール・デコ建築のひとつです。



3. OBSESSION のカラーリングについて教えてください。



3色のグラデーションが美しいこのフレームは、一本一本手作業で塗装を行っています。まず、エッチングで柄をつけたシートにベースカラーを施します。後に加熱工程があるため、ベースカラーには耐熱性の高い塗料を使用します。ベースカラーを塗装した後、2色目にはスプレーペンシルを用いて水平を保ちながらフレームの端を左、右と順に慎重にスプレーし、3色目も同様に行います。神経を使う、この非常にデリケートな作業工程が済んだ後、マットコーティングと加熱処理を行い、仕上げに入ります。

4. 新色のモチーフについて教えてください。

7021 (レディス).....川を流れる何千もの金の粒、もしくは融合していく金の粒

5021 と 6024 (イシエラ・キッズ)・・・印象派の油彩画のタッチ

3029 と 4020 (メンズサングラス)・・・迷彩柄*

7021



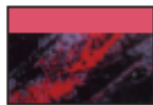
glitter on purple

5021



brown and green

6024



red and black

3029



blue camouflage

4020

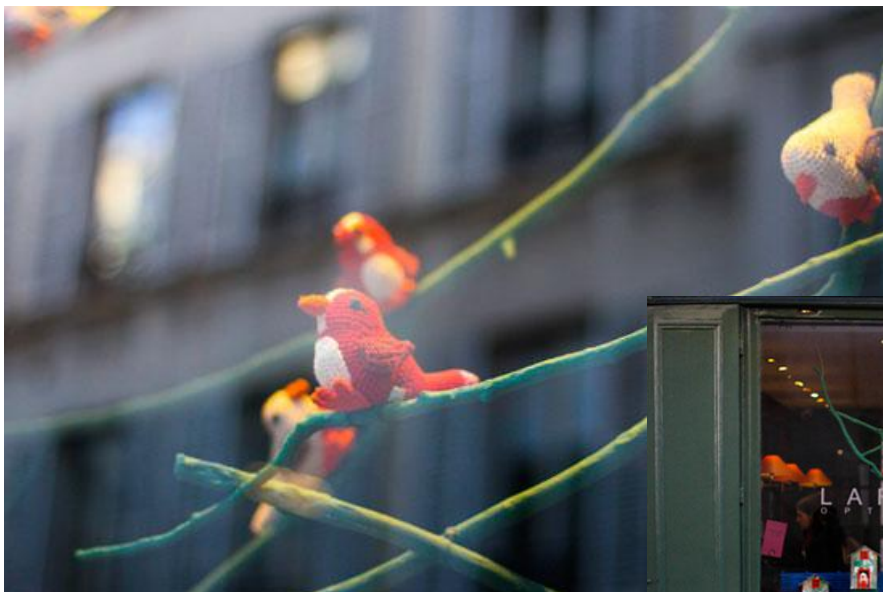


yellow camouflage

* 敵の目を欺き、周囲の光景に溶け込むことを目的とした迷彩柄(カモフラージュ)は第一次世界大戦中にフランス軍が採用したのが始まりだと言われています。迷彩柄が戦闘服に採用される頃にはパリのファッションデザイナーやポスト印象派、フォービズム派の芸術家たちも取り入れ始めました。ラフォンがこの柄をフレームに使用したのは 80 年代のことで、今回久しぶりにメンズサングラス用に再びセレクトしました。この迷彩柄を蛍光色のような明るく派手な色の生地を採用し、カモフラージュとは逆の効果を狙うことで、ファッション性を加えました。

5. ブティックのディスプレイ

3月のディスプレイ。テーマは春。



4月のディスプレイ。テーマは「リュネット・パーク」(“移動遊園地”を意味する“ルナ・パーク”をもっています。)



7月のディスプレイ。テーマは「ビーチ・タイム」

